

事例番号:350145

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第四部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 38 週 2 日 胎児心拍数陣痛図で基線細変動中等度、一過性頻脈を認める

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 4 日

16:50 胎動減少のため受診

4) 分娩経過

妊娠 38 週 4 日

16:56- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動減少、一過性頻脈消失、軽度遅発一過性徐脈または軽度遷延一過性徐脈を頻回に認める

18:50- 胎児心拍数陣痛図で遷延一過性徐脈の持続時間の延長を認める

23:33 胎児機能不全のため帝王切開で児娩出

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査でフィブリンの浸出が絨毛内・絨毛間の両方に目立ち梗塞も多発性に認める、臍帯巻絡あり(頸部 1 回)

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 4 日

(2) 出生時体重:2900g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.89、BE -20.6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 0 点、生後 5 分 0 点

(5) 新生児蘇生：人工呼吸（バググ・マスク、チューブ・バググ）、気管挿管、胸骨圧迫、アドレカリン注射液投与

(6) 診断等：

出生当日 新生児仮死

(7) 頭部画像所見：

生後 8 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常を認め、低酸素性虚血性脳症の所見を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分：病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 2 名

看護スタッフ：助産師 2 名、看護師 2 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 38 週 2 日の外来受診から妊娠 38 週 4 日の入院までの間に生じた胎児低酸素・酸血症が出生時まで進行したことによって低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考えられる。

(2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、胎盤機能不全の可能性はあるが、臍帯血流障害の可能性も否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価（2020 年 4 月改定の表現を使用）

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 38 週 4 日の電話連絡時における胎動減少感への対応（胎動カウントを促し、胎動消失と判断し来院を促した）は一般的である。

(2) 入院時の対応（超音波断層法実施、分娩監視装置装着）は一般的であるが、入院時の胎児心拍数陣痛図をリアシュアリング、基線細変動良好と判読したことは一般的ではない。

(3) 妊娠 38 週 4 日の 18 時 02 分以降の胎児心拍数陣痛図の医師の判読（基線細

変動あり)と対応(経過観察)は一般的ではない。また、19時09分以降の胎児心拍数陣痛図の判読において、医師は助産師から遅発一過性徐脈、ノリアシアリソグの報告を受けたが、その後21時11分の帝王切開の決定まで経過観察したことは一般的ではない。

- (4) 19時30分以降、21時11分の帝王切開決定まで、医師の胎児心拍数陣痛図の判読、対応について診療録に記載がないことは一般的ではない。
- (5) 帝王切開決定から2時間22分後に児を娩出したことは一般的ではない。
- (6) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。
- (7) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、アドレナリン注射液投与、胸骨圧迫、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。
- (2) 重症新生児仮死のため、当該分娩機関 NICU 管理としたことは一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2020」を再度確認し、分娩に携わる全ての医師、助産師、看護師等が、胎児心拍数陣痛図を正確に判読し対応できるよう研鑽することが望まれる。
- (2) 分娩監視装置装着中に関しては経時的に胎児心拍数波形を判読し、その所見および対応を診療録に記載することが望まれる。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

緊急帝王切開を決定してから手術開始までの時間を短縮できる診療体制の構築が勧められる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

入院前に発症した異常が胎児低酸素・酸血症を引き起こしたと推測される事例を集積し、原因や発症機序についての研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

入院前に発症した異常が胎児低酸素・酸血症を引き起こしたと推測される事例の発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。